

2022年10月7日

職業の可能性を広げる社会活動（※1）として受賞

## 女性が開発した 女性専用フルハーネス（※3）『プロミネ』 業界初（※2）、2022年グッドデザイン賞を受賞

株式会社 基陽（安全保護具製造販売 兵庫県三木市、社長 藤田 尊子）は、2022年10月7日に『グッドデザイン賞』（主催 公益財団法人 日本デザイン振興会）を受賞しました。

同社は、「女性の活躍する企業（2017年兵庫県男女家庭課）」、「女性チャレンジ賞（2017年内閣府）」を受賞、ほか、「ホワイト企業大賞特別賞」は2018年1月より5年連続受賞しています。

また近畿地区では製造卸業唯一の姉妹経営（※4）です。社員男女割合は3:7で女性社員割合が5割を超えている会社であり、社内には『兵庫2030年働き方モデル』に選定された者もいます。

コロナ禍の現在、働き方改革や労働環境についての注目が集まっていますが、国土交通省は建設に従事する女性を増加させる施策（※図表1）を行っており、同社は現場で働く女性の働きがいと働きやすさを実現するため、2022年度グッドデザイン賞にエントリーを行ない、受賞致しました。

（※1 グッドデザイン賞 受賞理由 グッドデザイン賞公式HPより抜粋  
※2 自社調べ

※3 正式名称：墜落制止用器具（通称 フルハーネス、命綱、安全帯）

※4 帝国データバンク調べ



女性専用フルハーネス『プロミネ』

種類	フルハーネス型
使用可能質量	100kg (作業者の体重+装備品の重量)
バックル	ワンタッチ式
ベルト幅	40mm
脚部形状	V型
カラータイプ	 マゼンタ×シルバー
製品重量	約680g

女性専用フルハーネス  
『プロミネ』スペック表



女性専用フルハーネス  
『プロミネ』  
金属パーツを減らし、  
光沢感のあるベルトを  
採用

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>

株式会社 基陽

広報担当：藤田 典子 090-1598-6769

〒673-0431 兵庫県三木市別所町小林 477-10

E-mail info@kh-kiyo.com

TEL 0794-82-2304

FAX 0794-82-9462

URL [www.kh-kiyo.com](http://www.kh-kiyo.com)

※図表 1

**女性の定着促進に向けた建設産業行動計画** ~働きつけられる建設産業を目指して~ 国土交通省  
Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind

○建設産業では、業界全体を活性化させるため**男女問わず誰もが働きやすい業界**とすることを目的に、平成26年8月の前計画策定以降、官民が一体となって、**女性の入職促進や就業継続に向けた様々な取組を実施**。一方、新・担い手法、i-Construction、建設キャリアアップシステムなど**建設産業を取り巻く環境が変化**。  
○こうした取組をさらに促進するためには**就業の継続が大きな課題**であることが顕在化したことから、**建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現**することを目的としつつ、「**働きつけられるための環境整備**」を中心に「**女性の定着促進に向けた建設産業行動計画**」を策定。

計画の柱	官民を挙げた目標	取組内容（主な取組例）															
働きつけられるための環境整備を進める	「女性の入職者数に対する雇職者数の割合」を令和6年までの間、前年度比で減少させる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設業</td> <td>71.0%</td> <td>103.7%</td> <td>79.7%</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>産業計</td> <td>85.3%</td> <td>88.4%</td> <td>81.8%</td> <td>92.0%</td> </tr> </tbody> </table> <small>出典：雇用動向調査を基に国土交通省で算出</small>		2014	2015	2016	2017	建設業	71.0%	103.7%	79.7%	66.7%	産業計	85.3%	88.4%	81.8%	92.0%	<ol style="list-style-type: none"> <li>建設産業の女性定着に向けた意識改革の必要性 イクボス宣言の推進（社内広報などで宣言を見える化）</li> <li>働き方改革の取組の推進 施工時期の平準化の推進、適正な工期の設定</li> <li>「働きがい」と「働きやすさ」が両立できる環境の整備 柔軟な働き方（短時間勤務制、フレックスタイム制、テレワーク、ワークシェアリングなど）ができる環境整備</li> <li>働きやすい現場の労働環境の整備 工事の現場において快適トイレや更衣室などの導入促進</li> <li>就職に向けたサポート環境の整備 建設キャリアアップシステムを活用して職場復帰時に就業履歴を証明、能力評価基準を活用してキャリアパス例を提示</li> <li>更にスキルアップできる環境を整える Web学習プログラムなどの職場外での技術・技能向上に向けた機会の提供</li> </ol>
	2014	2015	2016	2017													
建設業	71.0%	103.7%	79.7%	66.7%													
産業計	85.3%	88.4%	81.8%	92.0%													
女性に選ばれられる建設産業を目指す	「入職者に占める女性の割合」を令和6年までの間、前年度比で増加させる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設業</td> <td>19.5%</td> <td>15.0%</td> <td>21.2%</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>産業計</td> <td>54.6%</td> <td>52.9%</td> <td>52.9%</td> <td>51.3%</td> </tr> </tbody> </table> <small>出典：雇用動向調査を基に国土交通省で算出</small>		2014	2015	2016	2017	建設業	19.5%	15.0%	21.2%	19.4%	産業計	54.6%	52.9%	52.9%	51.3%	<ol style="list-style-type: none"> <li>建設産業の魅力、働きがいの発信などによるイメージ戦略 教育現場と連携した、学生とその保護者に対する建設産業の魅力のPR活動（現場見学会や出前講座の実施など）</li> <li>企業や業界団体の女性定着に関する理解の促進 女性定着に関する企業の好事例の情報発信</li> <li>新しい建設産業の魅力を創造・発信 i-Constructionの取組などの建設産業における働き方改革の取組についての情報発信</li> <li>女性が活躍している仕事例の紹介 女性が活躍している仕事例の事例を収集し、情報発信</li> <li>えるぼし、くるみんの認定取得に向けた取組を促進 アンケート調査を通じた認定取得に向けた取組の実態把握や、その結果を踏まえた実効性のある取組（説明会における認定取得に向けた働きかけなど）を業界と連携して実施</li> <li>建設産業に関係する制度の整備など 建設産業の現場における労働法制的影響などに関する整理（女性技能者の社内労働など）</li> </ol>
	2014	2015	2016	2017													
建設業	19.5%	15.0%	21.2%	19.4%													
産業計	54.6%	52.9%	52.9%	51.3%													
建設産業で働く女性に活躍する機会を全国で拡げさせる	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和6年までに新計画の内容の認知度100%を目指す。</li> <li>令和6年までに都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>計画の普及を図るための広報活動 新計画策定委員会に参加していない業界団体に対するPR方法の検討 取組の認知と認知を明確にするため「建設産業女性活躍推進ネットワーク」の名称を「建設産業女性定着支援ネットワーク」に変更。</li> <li>建設産業女性定着支援ネットワークのさらなる活動の充実、全国展開 建設産業女性定着支援ネットワークの構成団体が各地で行う地域ぐるみの活動の支援</li> <li>地域中小建設企業における女性技術者・技能者の確保・育成 各地域における女性定着のための取組の推進</li> </ol>															

出典 国土交通省 HP

【 デザインが生まれた背景 】

建設業は他産業と比べて高齢化が進行しており、人手不足が問題となっています。そこで、国土交通省が推進する「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」などの取組により、建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を両立できる環境づくりが進められています。

SDGs の「5.ジェンダー目標を実現しよう」「8.働きがいも経済成長も」といった目標も含め、さまざまな側面から働く現場の環境改善が行われ、女性技能者の数はここ数年で増加しています。

そんな中で、フルハーネスはその重さや動きにくさが作業者の負担となりやすく、特に男性より体の小さな女性にとっては大きな負担となっていました。また見た目にも、働くモチベーションを高められるような、そして働く姿に憧れを感じさせるようなカッコよさが必要だと考えました。



株式会社 基陽  
代表取締役 藤田 尊子

受賞理由（以下文章 グッドデザイン賞公式HPより抜粋）

建設産業で働く女性のためのフルハーネスを軽量に実現できたことが評価された。視認性あるカラーリングで、薄く微光沢があるテープ部分やバックル部分の素材や加工にも気配りが見える。今まで男性需要に重点を置かれ作られていたアイテムが、女性技能者にもフォーカスを当てて作られることによって、職業の可能性を広げる社会活動としても前向きな姿勢である。

----- 株式会社 基陽 会社概要 -----  
 安全保護具製品の製造卸。創業45年、ユーザーの声を聞き続けています。社での認証・受賞歴は『成長期待企業(H25)』『中小企業庁 きらり企業セレクション受賞(H26)』『ワークライフバランス企業表彰(H27)』『ひょうご女性の活躍する企業表彰(H29)』『女性のチャレンジ賞 内閣府(受賞 藤田社長)(H29)』『ホワイト企業 人間愛経営賞(H30)』『ホワイト企業 縁と絆の経営賞(R2)』  
 製品では、業界初受賞『2014年度(H26)グッドデザイン賞、BEST100入賞、金賞、審査員「私の選んだ一品」受賞』『ひょうごNo.1ものづくり大賞(H25)』『日本DIY商品コンテスト3位(H27)』『ひょうご新商品調達認定制度(H28)』など。  
 『いのちを笑顔につなぐ』を使命に、ものづくり現場を支えお客様と伴走努力を続けています。

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>  
 株式会社 基陽 広報担当：藤田 典子 090-1598-6769 〒673-0431 兵庫県三木市別所町小林 477-10  
 TEL 0794-82-2304 FAX 0794-82-9462 E-mail info@kh-kiyo.com URL [www.kh-kiyo.com](http://www.kh-kiyo.com)